

議 事 録

会議名	平成23年度第1回寒川町スポーツ振興審議会		
日 時	平成23年7月15日(金)14時～15時50分	開催形態	公開
場 所	寒川町民センター会議室		
出席者	委 員：青田正順、浅野俊二、石黒秀樹、井上隆男、 大川勝徳、喜多村出、山田寛、三澤敬機（敬称略） 事務局：吉川スポーツ振興課長 亀井スポーツ振興担当副主幹 三留スポーツ振興担当主査 傍聴者：なし		
議 題	(1) アンケート調査の結果について (2) 寒川町スポーツ推進計画について		
決定事項	議事録承認委員の指名について 浅野俊二委員 喜多村出委員 議題(2) 寒川町スポーツ推進計画について 町教育委員会からの諮問を受け、審議を重ね、11月を目途に 答申する。 次会開催日 平成23年8月4日、平成23年8月11日（予備日）		
議 事	<p>1 開会 (吉川課長)</p> <p>寒川町スポーツ審議会委員10名のところ、本日8名の方の出席がありますので、スポーツ審議会条例第7条第2項の規定により、ただいまより平成23年度第1回審議会を開会します。</p> <p>例年よりも梅雨明けが早く、暑い毎日が続いています。委員の皆さまにおかれましても、体調に充分気をつけていただきたいと思います。</p> <p>先日の日曜日にスポーツ振興課の事業である相模原市、大和市、綾瀬市、座間市、海老名市、厚木市、伊勢原市、秦野市、愛川町、清川村、寒川町で構成される8市2郡親善陸上競技大会を幹事として、厚木市荻野運動公園にて開催しましたが、何の事故もなく無事終了することができました。</p> <p>また、明日から8月31日までの間、町営プールをオープンしますが、事故のないよう万全の体制で開場していきたいと考えております。</p> <p>以上、簡単ではありますが、当課の近況の事業報告とさせていただきます。開会のことばといたします。</p>		

2 あいさつ

(青田会長)

皆さん今日は、暑い中お集まりいただきありがとうございます。スポーツも暑い中やるのに熱中症とかいろいろ気をつかうことがあります。我々指導する側、また見守る側として気をつけていきたいと思っています。

3 議事録承認委員の指名

(青田会長)

それでは、寒川町審議会等の会議の公開に関する規則第8条第2項の規定に基づき、議事録承認委員を指名します。

前回の審議会で、出席委員の中から名簿順に2名議事録承認委員になっていただくことに決定しましたので、浅野委員と喜多村委員を議事録承認委員に指名します。

4 議題

(1) アンケート調査の結果について

(青田会長)

事務局より説明をお願いします。

(亀井副主幹)

平成23年5月13日(金)から平成23年6月13日(月)にかけて、16才以上の町民で10才ごとの年代に均等に振り分けられるようランダムに抽出した3,000人を対象とし、実施しました。

調査の目的は、議題(2)で審議していただく「寒川町スポーツ推進計画」策定のための資料として、また老朽化の進んだ「町営プール」及び「さむかわ庭球場」を改修することとなった場合の参考とするための資料として行いました。

※資料1「アンケート調査の結果について」により説明。

(青田会長)

ご質問やご意見はありますか。

(青田会長)

問23の加入団体の種目の結果は、町が実施するスポーツ教室の参考にはなると思います。

(井上委員)

60才以上の回答率が高いと説明がありましたが、これからのことを考えると若い世代の意見が大切ではないかと思いますが、各年代の回答率はどうなっていますか。

(亀井副主幹)

問1の結果が、各年代別の回答率となっています。

(井上委員)

各年代の発送人数は。

(亀井副主幹)

10代だけが300人で、その他の年代は450人となっています。

この調査に限らず、どのアンケートも高齢の方の回収率が高い傾向があるようで、今回の反省点として、若い年代に発送する件数を多くして、回答数が均等になるような実施方法とすれば良かったのではと思っています。

(喜多村委員)

問32で町営プールに必要な施設の回答を求めています、現在ある施設を教えてください。

(亀井副主幹)

回答の①から⑤までの施設はありますが、⑤の屋根付き25mプールについては、老朽化の進行と改修できない状況があり、昨年より休止しています。①から④については明日より開場します。

(喜多村委員)

問32の選択肢の中で「水遊具のあるプール」とはどんなものですか。

(亀井副主幹)

民間のプールにあるような、水鉄砲などの水を飛ばす遊具で器具を使って水遊びができる施設のことです。

(喜多村委員)

ジャグジーは、どんなものですか。

(亀井副主幹)

他の市町村の屋内プールなどによく設置されていて、泳いだ後にリラックスするためなどの目的でに入るものです。

(喜多村委員)

屋根付き25mプールだけでも改修することはできないのですか。

(亀井副主幹)

プールが設置されてから27年経過しており、明日からの開場もいっばいいいっばいの状況で、改修するとなると、施設全体として考えなければならず、現状としてはかなり厳しい状況です。

(三澤副会長)

この調査は、どこかコンサルタントに依頼したのですか。

(亀井副主幹)

わたくしが、作成しました。

(三澤副会長)

今、ゴミの焼却施設を建設していると思いますが、その余熱を利用した施設の検討はしていないのですか。

(吉川課長)

今建設中の施設は、リサイクル施設なので、余熱は発生しません。

(三澤副会長)

回答の中で、屋内温水プールの要望が多かったので、質問したのですが。

(亀井副主幹)

現在の町営プールの利用の多くが子どもたちで、この調査の対象者が成人ということで、仕事の後や健康維持のための利用を希望していると考えられ、通年利用できる施設として屋内温水プールの要望が多かったと思います。

町単独で施設を整備した方がよいのかどうか、近隣市町村と提携して利用できればいいのかを含めて、町民がどう考えているのか把握できていないと、今後の検討の中で支障がありますので、今回のアンケートに盛り込んでみました。

(青田会長)

温水プールの建設については、今後の課題であると思いますが、アンケートを実施して審議していくことは重要だと思います。

(吉川課長)

町が行った事業仕分けの中で、町営プールは不要という結果となりましたが、問32で「町営プールは不要」と回答した方が、2.3%ということでしたので、今後の町営プールのあり方についての検討材料としていきたいと考えています。

(2) 寒川町スポーツ推進計画について

(青田会長)

事務局より説明をお願いします。

(吉川課長)

今回の計画策定につきましては、教育委員会より当審議会宛に諮問という形をとらせていただき、何回か審議していただいた後、教育委員会に対し審議した結果を答申していただきますので、よろしく願いいたします。

(亀井副主幹)

前回の審議会で、今年度で終了する「寒川町スポーツ振興基本計画」の第2次計画として策定し、その内容について検討ということでお願いしましたが、平成23年6月24日に計画の策定根拠となる「スポーツ振興法」を全部改正した、「スポーツ基本法」が公布されたことで、「寒川町スポーツ推進計画」という名称に変更して、本日の審議を行っていただきます。

本日の審議については、当計画をパブリックコメントに諮るための資料作成を目的としていますので、よろしくお願ひします。

広域的なスポーツ推進については、国や県が行うものでありますので、地域性を重点とした計画の素案としました。

また、町の総合計画との連動性を保つため、計画期間、見直しのサイクルについては、総合計画と同時進行できるよう進めていくものです。

※資料2「寒川町スポーツ推進計画について」により説明。

(青田会長)

ご質問やご意見はありますか。

(吉川課長)

資料をお渡ししたのが、2日前で時間的にあまり経過していないということで、なかなかご意見等を出しにくいのではないかと思います。今回の審議会では、内容の説明を聞いたということで、次回にご意見をいただくことでもかまわないのですが。

(大川委員)

策定までのスケジュールを見ると、次回にはパブリックコメント用の案を策定しなければならないので、今日、意見をもらわないとおかしいのではないですか。

(三澤副会長)

この計画の審議にあたって、次回の開催が8月中旬となっており、その回においてパブリックコメント用の計画案を作成となっていますが、その間に1回、審議会を開催した方がよいのではないかと。

(井上委員)

資料をいただいてから時間もあまりありませんが、できる範囲の中で審議してもよいのではないのでしょうか。

(吉川課長)

それでは、できる範囲でご審議いただければと思います。

(亀井副主幹)

この計画と町の他の個別計画との違いは、計画独自に具体的な事業を盛り込み、点検評価しながら、実施するのではなく、町の総合計画に具体的な実施事業がありますので、そこでの点検評価を参考に、計画を見直していくことです。

(大川委員)

総合計画の中で、スポーツの位置付けがどうなっているのか見えないのですが。

(亀井副主幹)

総合計画は、現在最終的な検討段階で、まだ未確定な部分がありますが、ほぼ確定しており、今回の計画とは見合った形では掲載される予定です。

(浅野委員)

前回のスポーツ振興基本計画との違いは何ですか。

(亀井副主幹)

具体的な個別事業を掲載していないことと、点検見直しを3年に1回と具体的な期間を記述したことです。

(浅野委員)

3年で見直すということですが、目標とする指標を「スポーツをしていない人 15%」と設定していますが、それは3年後の目標ですか。

(亀井副主幹)

指標については、計画の終了する9年後のもので、3年ごとの見直しというのは、9年後の指標を達成するために、推進の仕方を変えるかどうかということです。

(浅野委員)

項目とか構成は、こういったものでよいと思います。

(井上委員)

一番気になるのは、費用のかかる町営プールとテニスコートがどうなるのかなということで、それ以外のことについては、これでよいのかと思います。

細かな点では、30ページの「V学校」の中で、「・・・体育施設を開放ための・・・」とあることと、「VII総合型地域スポーツクラブ」の中で「・・・コミュニティを形成に・・・」となっているところがわからないのですが。

(亀井副主幹)

30ページの1点目については、「・・・体育施設を開放するための・・・」が正しく、また2点目は「・・・コミュニティ形成に・・・」が正しい表記となります。

また、第5章の目標とする指標が「スポーツをしていない人

15%」でどうかということについて、ご意見いただければと思います。

(青田会長)

やらない人を目標にするのもどうかなあという、気もしますが。スポーツをする人100%という目標のほうがよいのではないかな。

(亀井副主幹)

100%というのは、理想ですが、事業を進めていく上では、現実的な数値目標のほうが、進めやすいと考えているのですが。

(青田会長)

例えば、スポーツをしている人75%を80%に引き上げるといふ指標にしたらどうでしょうか。

(亀井副主幹)

今の表現ですとネガティブな感じと受け取られることも考えられるので、増やす表現に変更してもよいかと思います。

(喜多村委員)

前の計画は、こういった指標としているのですか。

(亀井副主幹)

具体的な指標は明示せず、将来像をイメージするに止まっています。

(井上委員)

平成14年の調査では、やらない人が19.9%なのに、今回の調査では29.8%に上がっているのです。何とかしないと。

(亀井副主幹)

ただ、前回の調査の記録が残っておらず、対象者数や年齢別に均等に抽出しているかなど、今回のものと同じレベルで行っているか確認が取れていないので、必ずしも数値が上がっているのか言い切れない部分はあります。

(大川委員)

数値目標がなじむかどうかは別として、もっと前向きな指標の方がよいのでは。

(亀井副主幹)

70%を80%に引き上げるといふような表現のほうがよろしいでしょうか？

(石黒委員)

私は、案の表現のほうが面白いと思います。スポーツをやらない人30%に対して、徹底的にスポーツ運動を展開していけば、自然と数値が上がっていくのではないかな。

(亀井副主幹)

この指標を考えた時、現在スポーツをしている人は、スポーツをする時間や機会が少しでもあればやるのでは、やらない人や、やれない人をどうしていくのか、ということが念頭にあり、この指標が思い浮かびました。

できない人はその理由が、育児であったり、仕事の忙しさであったりで、その人たちにどうしたらスポーツができるようになるかという思いもありました。

(青田会長)

アンケートの内容も、スポーツに興味があるという傾向で回答したのではないのか。3,000人の中で、スポーツをしていない人が回答したのかという事もありますよね。

否定的な意見ではないですけど、70%の人が本当にスポーツをしているのかという感じもします。

(亀井副主幹)

中には、歩いているだけでスポーツをしているという人もいるかもしれませんが、目標とする到達点がないと、計画を実行する上で、難しいとは思いますが。

(青田会長)

ウォーキングをしているとか、具体的に回答を得られるという点ではいいですね。

(亀井副主幹)

そういった傾向がわかれば、どんな種目だったら多くの人が参加するかなど、事業の進め方の参考になると思います。

(山田委員)

情報提供という形になると思いますが、県では、「3033運動」というのを推進していますが、どちらかという健康づくり志向にシフトしており、考え方として日常生活の運動化を進めるという方向で推進しています。通勤中に歩くのを、いつもより速く歩くなど意識的に行うことも運動に含めていくなど、スポーツと運動の考え方も若干従前と変わってきています。

日本ではこれまで「スポーツ」イコール「運動」と捉えていますが、本来的な概念では「スポーツ」は「気晴らし」ですから、チェスなどもスポーツとして含まれてしまいます。

市町村によっては、スポーツのとらえ方は様々で、それによってアンケートで得られる結果は全然違ってきます。寒川町が「スポーツ」をどう捉えるかということになると思いますが。

(浅野委員)

今までやったことのないような、アンケートだったんですね。

(亀井副主幹)

前回のアンケート実施の状況と比較するために、問31までは同じような問としました。

(青田会長)

我々体育協会が行っている競技スポーツだけではなく、スポーツを「気晴らし」とかいったことまで含めた計画というのも面白いのではないかと。多世代多種目だけではなく、他とは違うことも入れていったらどうでしょうか。

(亀井副主幹)

競技力の向上も大事ですが、健康的なまちづくりをめざした方が、より具体的な事業が展開できると考えます。

(青田会長)

小さいうちにスポーツを楽しむというところから入ってもらい、それが将来的に競技スポーツに進んだり、楽しみとしてのスポーツへ進んでもらうことで、最終的にみんなが体を動かすという事になっていけばよいのではないのでしょうか。

(亀井副主幹)

特に最近「こころの風邪」とかストレスを溜めることでなりがちなものを、体を動かすことでそれが発散されて、体の健康につながっていければと思います。

(青田会長)

ここに書いてあるプールに事業展開なども、ある年代になるとプールから離れてしまうかもしれないが、子供の頃にいった思い出や、親となって子どもを連れて行くということがあるから、プールがなくてもよいという回答が、2.7%に止まったのではないかと。環境の整備など場の提供は、行政がやるべき事ではあるが、運用ということとなったら民間の力を活用し、多くの人が携わって町を盛り上げて行ければいいなと思います。

(亀井副主幹)

今回計画策定のためにアンケート調査を行いました。計画も3年ごとに見直ししますので、定期的に意識調査を行っていきたいと考えています。

(井上委員)

前回の計画では、町営プールとさむかわ庭球場の改修についての記述はなかったのですか？

プールについては、利用人数が減ってきていますが、改修の問題などが関係しているのですか。

(亀井副主幹)

記述はされていません。

プールの利用者数の減については、今までは満足できた施設で

はあったが、民間の施設が充実したこともあり、段々と満足できなくなってきて、利用者が減ってきたのかなと思います。1日ゆっくり過ごしたいと思うようであれば利用者は増えていかないのではと考えます。

(井上委員)

どうせ作るのであればそうでないといけないと思います。

(亀井副主幹)

ターゲットを決めて、それにあつた施設でないとなりませんし、そのためにも今回アンケート調査を実施したわけです。また、利用者以外にもアンケートを実施したのも、どうして利用しないかを聞き出し、どういった施設ならば来てもらえるかということも把握するために行いました。

(三澤副会長)

財源の問題もあるし、大磯ロングビーチのような施設を作るといふわけにもいかないですね。

(亀井副主幹)

先に行った事業仕分けの中でも、近隣の施設を利用し、利用料を助成するなどの意見があり、ハード面の整備だけではなく、ソフト面で事業を展開していくという事も考え、総合的に判断し、進めていかなくてはならないと考えています。

(大川委員)

施設を町の中心に集約するセンター化という流れが、町にはあるのですか。

(亀井副主幹)

他の計画では、拠点となる核と核とを結ぶということはありませんが、センターに集約するという事は現状では、ありません。

(大川委員)

現実的になれば、それをつないでいけるような施設を作ったらいいのではないか。

(亀井副主幹)

町の中心に総合体育館という核となる施設がありますが、多くの施設が建物などの規制が多い河川敷に設置されていて、利用者には不便な思いをさせてしまっていると思っています。後はいかに運用面でカバーしていくかということになるかと思っています。

やはり、歩いてすぐに行ける身近な場所に施設があつて、やりたい時にいつでもできるということが、やらない人を減らしていくためには一番かなと。ということで、学校の体育施設の開放を行ってはいるのですが。

総合的に町全体の施設をバランスよく整えてはいきたいところですが、今回の東日本大震災の影響で、持ち直しの兆しがあつ

た景気もまた悪くなり、先の見えない状況で、この計画を審議していただくのも大変かと思いますが、3年ごとに見直すということで、その状況にあったスポーツの推進を図っていきたいと考えています。

(青田会長)

今回の質疑を参考に、次回に向けていろいろと案を練ってきてもらって、具体的に考えて行ければと思います。

(三澤副会長)

2ページの図の中で、町の関連する諸計画が具体的に、表記されていないが。

(亀井副主幹)

町の個別計画は多種多様で、この計画と関連性さえ保てれば、いいという考えで、具体的な計画名の記述にしませんでした。

まずは、この構成でよいのかということ審議していただき、それでよいということであれば、細かい表現等を審議していただければと思います。

(青田会長)

この素案をたたき台として、次回の審議に繋げて行ければと思います。

5 報告

(4) 「スポーツの日」について

(青田会長)

事務局より説明願います。

(亀井副主幹)

開催日は、平成23年10月10日(月)になりました。

会場は、総合体育館を中心に、中央公園、さむかわ庭球場で実施します。また、物品を販売し、売り上げを東日本大震災の義援金に充てていきたいと、考えています。

※資料3「スポーツの日について」により、現在の進捗状況を報告。

(青田会長)

前回の審議会では、カヌー教室を行うとなっていたと思いますが、どうなりましたか。

(吉川課長)

当初、田端スポーツ公園のカヌー乗り場を活用して、スポーツの日のイベントに加えていくという考えもありましたが、予定の3月末引き渡しに6月にずれ込み、条例の改正など予定が遅れて

いることもあることから、今回の中からは、外していますが、町営プールを活用しての実施でも、できないことはありません。

(亀井副主幹)

今回の報告については、最低限のものを載せさせていただいており、いいアイデアがあればその都度追加していくことも考えています。

(青田会長)

10月2日(日)に寒川総合スポーツクラブで「体力測定」を実施しますが、それとうまくタイアップさせて、一体化した事業としたらいかがですか。

(吉川課長)

まだ、これだということまでは進んでいないので、いいアイデアがあれば、いただきたいと考えています。

(亀井副主幹)

イベントのお知らせを広報の10月1日号とする予定ですので、原稿の締切日である8月25日には、体育協会との調整も済み、事業の内容が確定していると思いますが、それまで、この審議会もまた開催しますので、ご意見があればいただきたいと思います。

(喜多村委員)

今、課長の説明の中で、条例改正とありましたが、それはどういった内容ですか。

(吉川課長)

スポーツ施設としてカヌー乗り場を整備したということで、野外体育施設条例において、そのカヌー乗り場を規定した方がよいであろうということで、条例改正に向けて準備を進めています。

(井上委員)

スポーツの日のイベントは、体育協会などと町が実施するというのですが、以前あった「ふれあい・スポーツ・健康まつり」のように、自治会と協力していくということはしないのか。

(亀井副主幹)

今回は、予算的な問題もあり、スポーツ施設の開放をメインにイベントを開催しますが、それがこの事業の完成形ではなく、毎年毎年育てていって、完成されたイベントにしていきたいという考えでいます。その課程で、自治会の協力が必要ということであれば、イベントに加わっていただき進めていくということになります。

	<p>6 その他 (青田会長) 事務局より何かありますか。</p> <p>(吉川課長) 次の審議会について、開催日を決めていただきたいのですが、8月11日でいかがでしょうか。</p> <p>(石黒委員) 8月11日の前の8月上旬に、もう1回開催したほうがよいのでは。</p> <p>(吉川課長) 8月4日に開催し、そこで終わらない場合の予備日として8月11日に開催するという事では、いかがでしょうか。</p> <p>(青田会長) それでは、次回は8月4日の午後2時から、予備日として8月11日の午後2時からということとします。場所については、後日通知します。</p> <p>7 閉会 (吉川課長) 行政側の手続き上、計画策定にあたりましては、タイトなスケジュールとなっておりますが、より良い計画として作り上げたいと思いますのでよろしく願いいたします。 長い時間、ご審議いただきありがとうございました。</p>
<p>資 料</p>	<p>資料1 「アンケート調査の結果について」 資料2 「寒川町スポーツ推進計画について」 資料3 「スポーツの日について」</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>浅野俊二委員 喜多村出委員 (平成23年8月2日確定)</p>

寒川町スポーツ振興審議会